

日刊 勤労千葉

'79.1.18

No. 10

国鉄動力車労働組合

千葉地方本部

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五八〇九（公衆）〇三三二七二〇七

勝利の日まで 闘いぬこう！

「正史の道には常にけわしい壁が立ちはたかざるものだが、しかしいつの時代にも、先頭切って、その困難な任務をひきうける革命的戦士があらわれる。今、ここに参集された同志諸君は、まさに、その誇り高い正史的任務の実践者たちだ。」

正史は生きると弁証法——皆さんの闘いは近い将来必ず勝ちます。……

戦前から社会運動指導者、日本の哲学者の権威、著作も多い。今も埼玉県昭和村の農民運動を指導されている。

山崎謙氏

のあつさり

一、一六団結旗掲げは正史的な大成をおさめた。わが一四〇〇の断乎たる総決起宣言、立ち上る家族組合、そしてこの日かけてくれた全国の支援共闘の力は、かつてなく大きく、闘いの輪はかつてなく広がった。自らの苦闘を通して語られる連帯・激励の、確心にみちみちた言葉の一つ一つから、我々は勝利への教訓を学びとり前進しなければならぬ。

正義は千葉にあり、正義は勝たねばならない、勝つために、たゞ勝つために、いざ総決起せよ！（多くの連帯の接携の中からいくつが要旨を紹介したいと思えます）

支援共闘代表

「79年は緊張した新年を迎えた。三里塚と連帯するから総決起だ——こんな闘争の時こそは、史実の証人、御主人たちは金へまをいれたいとやっています。こんな道理の通らないことは一四〇〇の組合員と支援の団結の力で必ず粉砕されるでしょう。」

昨年の旗がさるは、この海陸空労働組合委員長が「反対同盟も支援共闘もともに勤労千葉を擁護し守りぬいて闘ってほしい」と大変な決意を述べた。私はこの手で林業労働と闘ってきた、山村さん、北原さんともども高揚感、通せんぼかめいて奮闘をかちあげた。このことば多くの人は、はつきりと覚えていよう。

私はかつて車マシンのテロ部隊のしゅう撃をうけて、このように右手の指を骨折して曲がらなくなったが、このやうな邪魔な策動をくりかえす輩を、この手でぶんばつしてこそ勝利のためには闘いぬきたい。勤労千葉は決して砕けてはいない。共闘が伸びるまじやう。」（野田）

この支援の力と共に……

松尾謙氏

「一九五三年、三池、一一三日向斗争への教訓を踏襲して炭鉱夫のおとうちゃんたちを支え、三池炭鉱会、炭鉱協を結成して闘ってきた。家族が参加するようになったから闘いは収まりと強さをつけてどんどん変わっていった。勤労千葉の取組も同じく男ばかりの職場を、やはり男だけの長期の闘いは勝てない。」

一九六三年の三池の炭じん爆発事故で三百人の仲間が殺され、主人も含めほう大行教の仲間が一酸化炭素中毒にあたり、今なお事故の残骸を引きずりながら前進も、とも闘い続けている。現在も国と会社に対し単独訴訟の長期の闘いを闘っている。

労働運動は、冒険は禁じられた。こわい言われぬ闘いだけれども、しかし正義をつらぬくためには、今までの力を殺して、あえて冒険することも確信しなければならぬ時もある。家族を創って闘いを支えている三池一酸化炭素中毒単独裁判原告団

参加組合員の感想より

「私の経験からいって、闘いが困難になると、ほんのわずかのガンバリで勝つか負けるかのわかれ目がある。そのような最悪な時に奮起し勝つか負けるかを賭けようとする。本気の決闘といふものは、ある意味ではこうだったほんのわずかの賭約とも言える様な状況下で闘われるもので、そこをガンバリぬけば完全に勝利できるもの。」

こういってはいない集会では今後ともどんどん出席させてきた。……」（野田）

「いつになく盛況だった。全体として盛り上っていたネ……」（勝浦支部・40才主婦兼役員）

「一部は壁が厚かったけれど、二部に入ってからいろんな人のあつさり、ラッパを打って面白かった。特に最初の聖母の女の人の話はおもしろいと思った。」（木更津支部・21才校修）

「石田有全さんの話しが良かった。なるほどと思った……」（千代田支部役員・33才）

「皆、せいっぱい闘っているんだね、とシンときました。花柳さんは私の娘さん位の年だが、差別にたいして体罰を相手に一人で闘っている。感動した。こういって人たちは連帯して闘っている千葉は、決して正しいと思えた。信用できる。」（幕張支部・50才構運）

「委員長の話がなんともいえないな。相当は切っつるな……」（成田支部・年輩者）

「国鉄に入ってから、とにかく初めての参加だったけれど、とても良かった。あのすげえ感動だ。会場のものがあつたあつた、もつと良かった……」（新小岩支部・19才整備）

「長谷川きよしさんが来て歌ってくれたのはビックリした。千葉の闘いも、こんなに広いのか、という奥感動だ……書記長の基調報告もスッキリして良かった……」

（館山支部・32才兼役員）